

建設汚泥を改良土に再利用

オデッサンス 花巻市内の現場で見学会

花巻市内で進められ、多くの関係者が参加。社会問題になっ

ているリサイクルセンター建設工事の用地造成、建設汚泥を再利用した改良土が活用されて、関心を持って現場の見学が盛況だった。

8日には現場の見学会が行われ、多くの関係者が参加。社会問題になっているリサイクルセンター建設工事の用地造成、建設汚泥を再利用した改良土が活用されて、関心を持って現場の見学が盛況だった。

8日には現場の見学会が行われ、多くの関係者が参加。社会問題になっているリサイクルセンター建設工事の用地造成、建設汚泥を再利用した改良土が活用されて、関心を持って現場の見学が盛況だった。



改良土を使った造成地

原正基代表取締役が整備する「フジコウ・リサイクルセンター」の建設現場では、産業廃棄物の中間処理場の建設を進めるに当たって、施工の過程においても再生資源を活用するの考えから、造成工事に改良土を利用している。



供試体を手にとって確認する参加者

供。(株)施工を担当する(株)オデッサンスの重幸建設部長は「水はけも良く、その状態も持続性があり良質な製品」と評価する。

8日に開かれた現場見学会には、施工である(株)オデッサンスの重幸建設部長はじめ、産廃処理業者、建設企業、金融機関、行政、研究機関の関係者が参加。リサイクルセンター花巻の菅原健二取締役副社長が、同社が製造している「ユニ・ソイル」と、オデッサンスによる建設汚泥の再生技術を紹介しながら、全国的に建設汚泥の再生利用が進んでいる状況も指摘。リサイクル率の向上が必要だとの考えを示した。

状況を確認した。今回の現場見学会は、オデッサンスシステムが主催で開かれた。オデッサンスシステムは、産業廃棄物である建設汚泥などの無機性汚泥に特殊固化材を混合・攪拌し、短時間で造粒固化処理して土質を改良材が提供できるシステム。NETIS「設計比較対象技術」に指定されている。同協会はオデッサンスが製造している「ユニ・ソイル」と、オデッサンスによる建設汚泥の再生技術を紹介しながら、全国的に建設汚泥の再生利用が進んでいる状況も指摘。リサイクル率の向上が必要だとの考えを示した。

5件の提案を採択

国土交通省は、2022年度のBIMを活用した建築生産・維持管理プロセス円滑化モデル事業で5件(先導型3件、中小事業者型2件)の採択を発表した。

【先導事業者型】
▽Uniclass
▽維持管理BIMシステム
▽設計・施工・維持管理の連携
【中小事業者型】
▽設計・施工・維持管理の連携



改良土の概要について説明する菅原副社長

菅原副社長は、改良土はクリーンセンター花巻(一関市佐藤田)で採取された建設汚泥を再利用した改良土として、全国的に建設汚泥の再生利用が進んでいる状況も指摘。リサイクル率の向上が必要だとの考えを示した。

菅原副社長は、改良土はクリーンセンター花巻(一関市佐藤田)で採取された建設汚泥を再利用した改良土として、全国的に建設汚泥の再生利用が進んでいる状況も指摘。リサイクル率の向上が必要だとの考えを示した。

菅原副社長は、改良土はクリーンセンター花巻(一関市佐藤田)で採取された建設汚泥を再利用した改良土として、全国的に建設汚泥の再生利用が進んでいる状況も指摘。リサイクル率の向上が必要だとの考えを示した。

胆沢城②

高橋克彦著『炎立つ』には、藤原経清が安倍一族の本拠地である衣川を偵察する場面がある。その衣川に通じる道はよく整備されており、経清は安倍氏の力を推し量る。そして、衣川の町並みを目にして、その実力が尋常でないことを思い知らされる。

衣川の安倍館

遙かに超えた町並みだった。整然とした区割りに民家の屋根が彼方まで連なっている。経清の暮らす百理などの比ではない。いや、多賀城の町並みとこれほどに賑わってはいないだろう。斜め前方に聳(そび)える瓦の乗った大屋根は安倍の館であろうか。奥六郡を支配する頼良の住まいである。もちろんある程度の大きさを頭に描いていたが、囲む土塁の広大さに経清は思わず溜め息を吐いた。丘の全体をゆとりと囲っている。多賀城の改修の音はあちこちから

今はない。ただし、安倍の館については、擬定地があり、「安倍館跡」と称されている。その中尊寺の西北西500メートルのところにあり、北股川(きたまたがわ)と南股川に挟まれた丘陵の先端部に位置している。

安倍館には、東郭と西郭があり、東郭は居住地区で、西郭がいわば城郭のようなものであったと推定される。東郭と西郭を合わせ、北股川と南股川の合流点にあったことから、落合館とも呼ばれた。また、西郭の形状から舞鶴館とも呼ばれていた。現在は、西郭のみを安倍館と称している。

設はあるのか。衣川は、安倍氏の本拠地である。その安倍氏は、現在の岩手を実質的に支配しているばかりでなく、青森や宮城にも影響を及ぼしている。阿豆流為の時代は、部族の連合で朝廷軍と対峙した。いまは、安倍氏のみで、中央と渡り合えるような勢力となっている。詳細は分からずとも、安倍氏の本拠地の賑わいは、推して知るべしであろう。

胆沢城、志波城、徳丹城と、中央政府による城柵が次々と造営され、土着の人々は、造営に駆り出されたり、蚊帳(かや)の外に置かれたりした。安倍館は、我が城である柵である。中央による城柵の範囲には入らな

志波城も徳丹城も廃棄され

鎮守府の置かれていた胆沢城さえも荒れ果て、機能不全に陥っている。安倍氏は、何をお手本として、安倍館を築き、衣川の町をつくったのであろうか。

戦國のない時代が250年ほど続いた。この間に、奥六郡では、安倍氏が台頭し、南にも影響力を及ぼすようになる。争いのない平和な時代であり、安倍一族の者が、多賀城まで出かけた。城や町の様子を窺ってきた可能性もある。さらには、城や町に詳しい人に出会い、衣川に連れ帰ったかも知れない。誰か安倍館や衣川の町づくりに指揮したにせよ、従事したのは、一族の者たちであり、それは、苦

道路を良くする技術 研究の募集が始まる

国土交通省は、新たな道路をより良くするための技術研究課題の募集期間を2023年度分の募集開始日(10月31日)まで延長した。募集期間は10月31日。研究者の活動を支援し、道路政策の質向上につなげる。応募技術は、国土交通省が防災・減災や脱炭素化など7つのテーマに示している。

国土交通省は、新たな道路をより良くするための技術研究課題の募集期間を2023年度分の募集開始日(10月31日)まで延長した。募集期間は10月31日。研究者の活動を支援し、道路政策の質向上につなげる。応募技術は、国土交通省が防災・減災や脱炭素化など7つのテーマに示している。

国土交通省は、新たな道路をより良くするための技術研究課題の募集期間を2023年度分の募集開始日(10月31日)まで延長した。募集期間は10月31日。研究者の活動を支援し、道路政策の質向上につなげる。応募技術は、国土交通省が防災・減災や脱炭素化など7つのテーマに示している。

国土交通省は、新たな道路をより良くするための技術研究課題の募集期間を2023年度分の募集開始日(10月31日)まで延長した。募集期間は10月31日。研究者の活動を支援し、道路政策の質向上につなげる。応募技術は、国土交通省が防災・減災や脱炭素化など7つのテーマに示している。

国土交通省は、新たな道路をより良くするための技術研究課題の募集期間を2023年度分の募集開始日(10月31日)まで延長した。募集期間は10月31日。研究者の活動を支援し、道路政策の質向上につなげる。応募技術は、国土交通省が防災・減災や脱炭素化など7つのテーマに示している。

国土交通省は、新たな道路をより良くするための技術研究課題の募集期間を2023年度分の募集開始日(10月31日)まで延長した。募集期間は10月31日。研究者の活動を支援し、道路政策の質向上につなげる。応募技術は、国土交通省が防災・減災や脱炭素化など7つのテーマに示している。

国土交通省は、新たな道路をより良くするための技術研究課題の募集期間を2023年度分の募集開始日(10月31日)まで延長した。募集期間は10月31日。研究者の活動を支援し、道路政策の質向上につなげる。応募技術は、国土交通省が防災・減災や脱炭素化など7つのテーマに示している。

国土交通省は、新たな道路をより良くするための技術研究課題の募集期間を2023年度分の募集開始日(10月31日)まで延長した。募集期間は10月31日。研究者の活動を支援し、道路政策の質向上につなげる。応募技術は、国土交通省が防災・減災や脱炭素化など7つのテーマに示している。

国土交通省は、新たな道路をより良くするための技術研究課題の募集期間を2023年度分の募集開始日(10月31日)まで延長した。募集期間は10月31日。研究者の活動を支援し、道路政策の質向上につなげる。応募技術は、国土交通省が防災・減災や脱炭素化など7つのテーマに示している。

国土交通省は、新たな道路をより良くするための技術研究課題の募集期間を2023年度分の募集開始日(10月31日)まで延長した。募集期間は10月31日。研究者の活動を支援し、道路政策の質向上につなげる。応募技術は、国土交通省が防災・減災や脱炭素化など7つのテーマに示している。

国土交通省は、新たな道路をより良くするための技術研究課題の募集期間を2023年度分の募集開始日(10月31日)まで延長した。募集期間は10月31日。研究者の活動を支援し、道路政策の質向上につなげる。応募技術は、国土交通省が防災・減災や脱炭素化など7つのテーマに示している。

国土交通省は、新たな道路をより良くするための技術研究課題の募集期間を2023年度分の募集開始日(10月31日)まで延長した。募集期間は10月31日。研究者の活動を支援し、道路政策の質向上につなげる。応募技術は、国土交通省が防災・減災や脱炭素化など7つのテーマに示している。

育のご案内 9月～2月予定表

12月	1月	2月
1 ガス溶接技能講習(1・2)	1	1
2	2 クレーン運転業務特別教育(2・3)	2
3	3	3
4	4	4
5	5	5
6	6	6
7	7	7
8	8	8
9	9	9

学科2日	実技1日
床上操作式クレーン 運転技能講習 つり上げ荷重が5トン以上の床上操作式クレーンを運転する方に必要な資格です。(運転する者が荷の移動とともに移動するクレーン)	小型移動式クレーン 運転技能講習 つり上げ荷重が1トン以上5トン未満の移動式クレーンを運転する方に必要な資格です。
玉掛け技能講習 つり上げ荷重が1トン以上のクレーン、移動式クレーン、デリックまたは、制限荷重が1トン以上の揚貨装置、などの玉掛けの業務に就く方に必要な資格です。	車両系建設機械 運転技能講習(整地等) 機体重量(ブーム・アーム・バケットを除く本体のみの重量)3トン以上の車両系建設機械を操作できる資格です。